

「認定こども園」に関する意識調査報告

全私保連調査部

はじめに

今回の調査は、会員園の方々の「認定こども園」についての意識調査を主旨としたものですが、同時にインターネットを活用しての調査という特性をいかすために、会員外の方からも広く意見を寄せていただくことにしました。その結果、回答数は必ずしも多くはありませんが、会員園からの回答に加えて会員外の方からも多数回答を寄せていただきました。

ご協力いただきました皆様にお礼を申し上げます。

*なお、詳細は、ホームページ「あおむし通信」をご覧ください。

<http://www.zenshihoren.or.jp/>

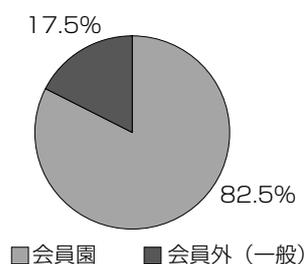
調査の概要

- 1 調査対象 ホームページ「あおむし通信」閲覧者
- 2 調査方法 ホームページ内のアンケート投票フォームを使用
- 3 実施時期 平成18年9月13日～10月31日
- 4 回収票数 462件
- 5 記載上の留意事項
 - ① 数値はすべて小数第二位以下を四捨五入して処理したため、割合については、該当項目の合計が必ずしも100.0%にならない場合がある。
 - ② 割合は、それぞれの回収総計に比した数値である。

調査結果について

- 1 あなたは、全私保連の会員園ですか？ それとも会員外（一般）の方ですか？

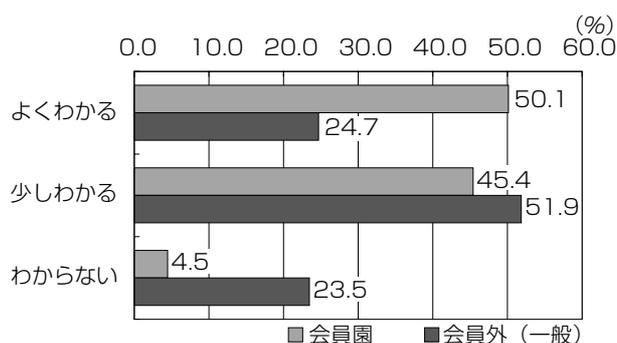
(人)		
会員園	381	82.5%
会員外（一般）	81	17.5



2 あなたは、「認定こども園」の4つの類型について、その具体的な仕組みがわかりますか？

(人)

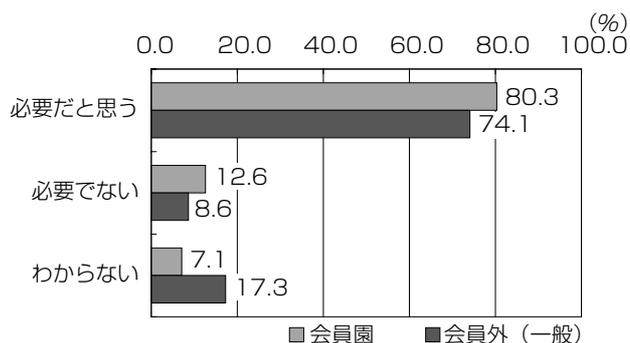
	会員園		会員外（一般）	
	人数	割合	人数	割合
よくわかる	191	50.1%	20	24.7%
少しわかる	173	45.4	42	51.9
わからない	17	4.5	19	23.5



3 あなたの市町村に「認定こども園」が設置されるとき、適正配置は必要だと思いますか？

(人)

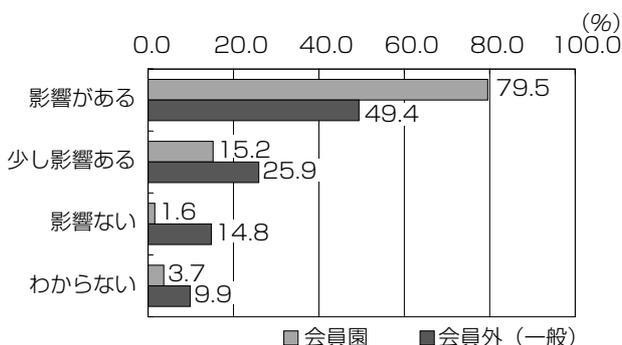
	会員園		会員外（一般）	
	人数	割合	人数	割合
必要だと思う	306	80.3%	60	74.1%
必要でない	48	12.6	7	8.6
わからない	27	7.1	14	17.3



4 「認定こども園」はすべて直接入所契約ですが、今後、保育園にも影響があると思いますか？

(人)

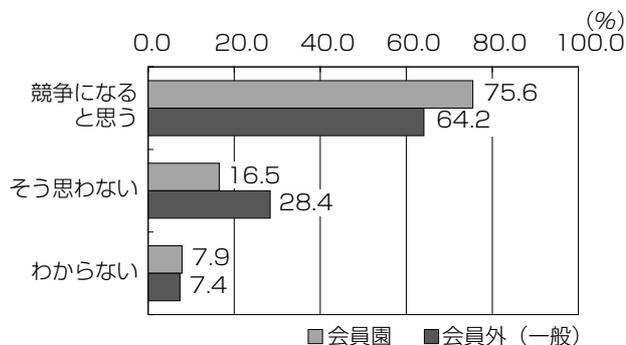
	会員園		会員外（一般）	
	人数	割合	人数	割合
影響がある	303	79.5%	40	49.4%
少し影響ある	58	15.2	21	25.9
影響ない	6	1.6	12	14.8
わからない	14	3.7	8	9.9



5 「認定こども園」の保育料は自由価格制ですが、価格競争になると思いますか？

(人)

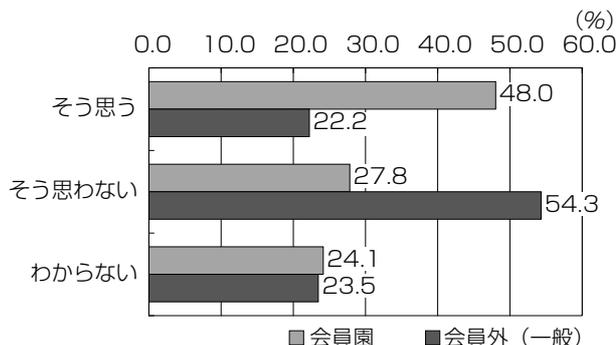
	会員園		会員外（一般）	
	人数	割合	人数	割合
競争になると思う	288	75.6%	52	64.2%
そう思わない	63	16.5	23	28.4
わからない	30	7.9	6	7.4



6 「認定こども園」の仕組みは、乳幼児の育ちに悪い影響があると思いますか？

(人)

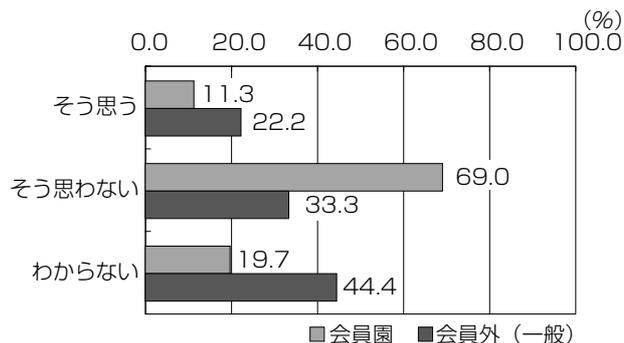
	会員園		会員外(一般)	
	人数	割合	人数	割合
そう思う	183	48.0%	18	22.2%
そう思わない	106	27.8	44	54.3
わからない	92	24.1	19	23.5



7 「認定こども園」は、保育園よりも「地域における子育て支援」を積極的に行うと思いますか？

(人)

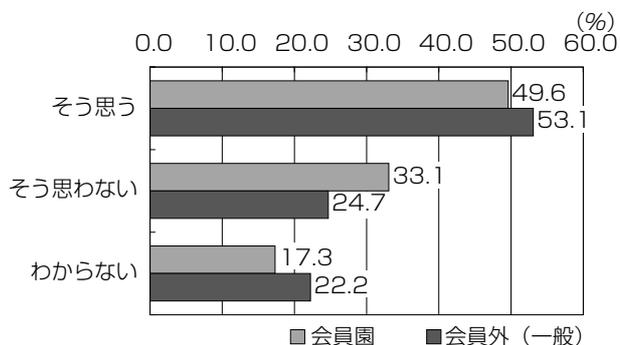
	会員園		会員外(一般)	
	人数	割合	人数	割合
そう思う	43	11.3%	18	22.2%
そう思わない	263	69.0	27	33.3
わからない	75	19.7	36	44.4



8 「認定こども園」の「保育」という言葉には、幼児教育は含まれていると思いますか？

(人)

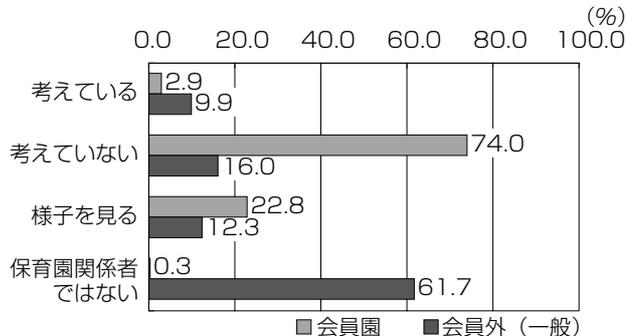
	会員園		会員外(一般)	
	人数	割合	人数	割合
そう思う	189	49.6%	43	53.1%
そう思わない	126	33.1	20	24.7
わからない	66	17.3	18	22.2



9 貴園を「認定こども園」へ移行する考えがありますか？

(人)

	会員園		会員外(一般)	
	人数	割合	人数	割合
考えている	11	2.9%	8	9.9%
考えていない	282	74.0	13	16.0
様子を見る	87	22.8	10	12.3
保育園関係者ではない	1	0.3	50	61.7



考察

以下は、集計結果から読みとれる特徴や課題について、調査部による検討結果をまとめたものです。今、まさに動きはじめた「認定こども園」について、今後の展開を注目して見ていく際の参考にしていただければ幸いです。

考察1 会員外（一般）の方からの意見が寄せられる調査実施の意味

今回調査には、会員園以外の方からの意見も全体数の20%弱寄せられ、普段の会員園の方からの意見集約が中心の調査とは違った視点や価値観を伺うことができた。会員及び会員外（一般）からの意見を対比してみると、

- 1 一致度の高い項目／③適正配置の必要、⑤価格競争促進など
 - 2 意見が相反する項目／⑥乳幼児の育ちへの悪影響
 - 3 中間的項目／どちらかといえば相反するもの…②4類型について、④直接契約の影響、⑦子育て支援への取り組み
 - 4 その他／一致度は高いが、双方とも迷いが見られるもの…⑧「保育」に幼児教育は含まれるか
- という結果が得られた。このような回答が得られたことに、今回調査の特徴と意味があったと思われる。

考察2 一致度の高かった項目とその内容

一致度が高い項目は、「認定こども園」についての「適正配置の必要性」についての意見が双方とも「必要である」との回答が多数を占めた。適正配置の内容についての情報が共有されているか等はこの調査ではわからないが、既存の保育園・幼稚園に取って代わるモデルとしてではなく、不足分を補う補完的な役割を期待していると考えてよいと思われる。「価格競争の加速」についても一致度は高いが、価格競争自体への評価内容は、この調査ではこれ以上の内容は理解しきれないので、今後の調査が必要であろう。

考察3 相反する意見が寄せられた項目とその内容

はっきりと相反した回答が得られた項目は、「⑥乳幼児の育ちへの悪影響」について、会員園では「明らかに悪影響がある」との批判的回答が半数を占める結果だったが、会員外（一般）からの回答では「影響がない」との肯定的回答が半数以上になるという形で、「認定こども園」という仕組みやその保育内容への期待や評価が相反する傾向が見られた。

考察4 その他（双方分散型の項目）

質問項目への回答に分散傾向や迷いが見られた項目はいくつかあるが、②の「4類型について」は、会員園の回答では「高い理解」が見られたが、会員外（一般）の回答では具体像や情報把握は十分ではなく、関係者以外には大まかな理解度のまま政策実施が見切り発車的に進んでしまっていることが想像できる結果となっている。

考察5 課題が残された項目（認定こども園の保育と幼児教育の位置づけ）

⑧の「認定こども園での保育に幼児教育が含まれるか」という設問への回答を見ると、双方とも「含まれている」という回答が半数を占め、回答傾向は一致したが、問題の理解度という点では大きな課題が残る結果となった。設問内容にも不十分さがあったと思われるが、現在進行中の「認定こども園」の実施内容に見られる最も大きな問題点である「保育と幼児教育を対立させてしまうあり方」が実際に動き出してしまうことへの理解不足の傾向が、会員園、会員外（一般）の双方に見られた。この課題については、理解を深める取り組みや、「保育に幼児教育が含まれる」ためにどのような取り組みが必要なのか等についての問題提起が求められていると思われる。

（全私保連調査部副部長・星野 勤）